

株式会社ファインデックス

証券コード：3649

# 個人投資家向け説明会

安定基盤×データ活用による、  
更なる成長と高収益化へのシナリオ


2026年6月20日

---

社会をつなぐ、技術で支える



- 00 / 企業概要**
- 01 / 事業・財務基盤**
- 02 / 事業成長戦略**
- 03 / 業績と株主還元**
- 04 / 私たちがつくる未来**

会社名	株式会社ファインデックス (FINDEX Inc.) 
代表者	相原 輝夫
設立	1985年1月
資本金	2億5,425万円
決算期	12月
連結従業員数	360名 (2026年4月時点)
本社	東京都千代田区大手町1-7-2
事業内容	ソフトウェア・クラウドサービス・医療機器の開発販売
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード: 3649)

## グループ会社



**フィッティングクラウド株式会社**  
医療AI技術やクラウドサービスを提供



**EMC Healthcare株式会社**  
医療技術のヘルスケア領域への活用、  
データ分析技術、IoTやAIなどの先端技術の開発と活用

ファイナデックスは、医療・公共機関を自社ソリューションで支え、  
革新・成長を続ける技術者集団です。



## 医療ビジネス

国内大学病院の約80%が利用

医療業界の課題を技術力で解決



## 公共ビジネス

公共セクターDXに欠かせない電子決裁・  
公文書管理ソリューションを開発

県庁や省庁外郭団体での  
利用実績が急増



価値ある技術創造で  
社会を豊かにする

## ヘルステック ビジネス



独自技術搭載の医療機器を自社開発

国主導の医療データ利活用を牽引

## 既存安定成長事業

## 新規成長事業

1994年

医療システム開発事業を開始

30年超の操業を通じ  
医療DXの領域で確固  
たる事業基盤を確立

2014年  
公共向け事業を展開

2019年  
自社開発医療機器を世界へ

医療DXで培った技術力で  
公共セクターDXや  
医療機器開発に参入

- 公共セクターDXは、新規マーケットで事業拡大余地大
- 医療機器は開発中心からマーケティング強化のフェーズへ
- これらがサイドエンジンとなり収益源を多角化

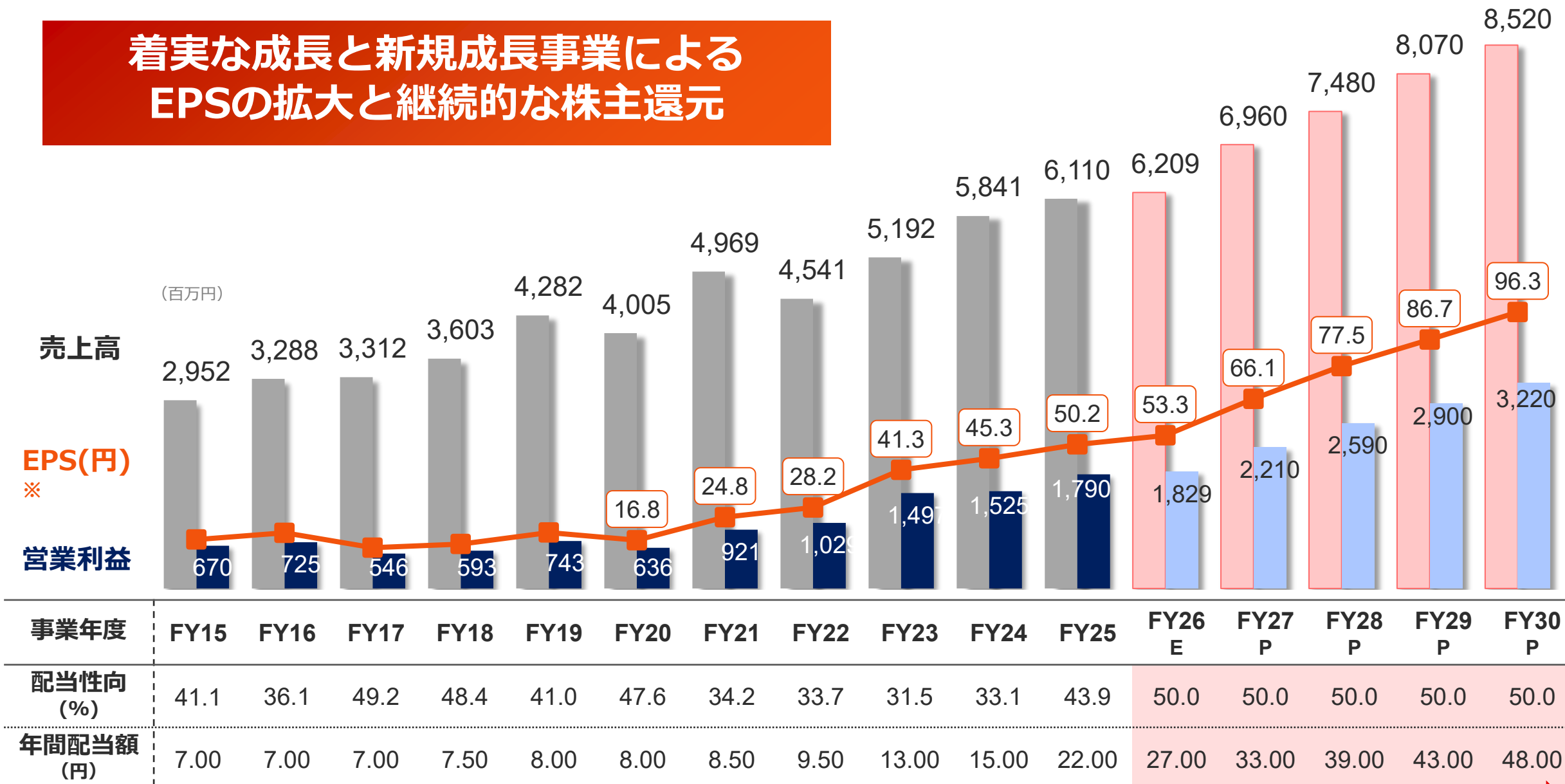
2025年  
医療データプラットフォーム事業を  
立ち上げ

国策である医療データ利活用にキーププレイヤーとして参画、  
更なる成長を目指す

- 他社が模倣困難な高い技術力と、業界でのプレゼンスによって医療データプラットフォーム事業を成長事業に育成

# 01: 事業・財務基盤① 過去実績～2030年 計画値

着実な成長と新規成長事業による  
EPSの拡大と継続的な株主還元



※EPSは当期純利益に基づき算出

計画値

# 01: 事業・財務基盤② FY2026売上高と利益計画の進捗

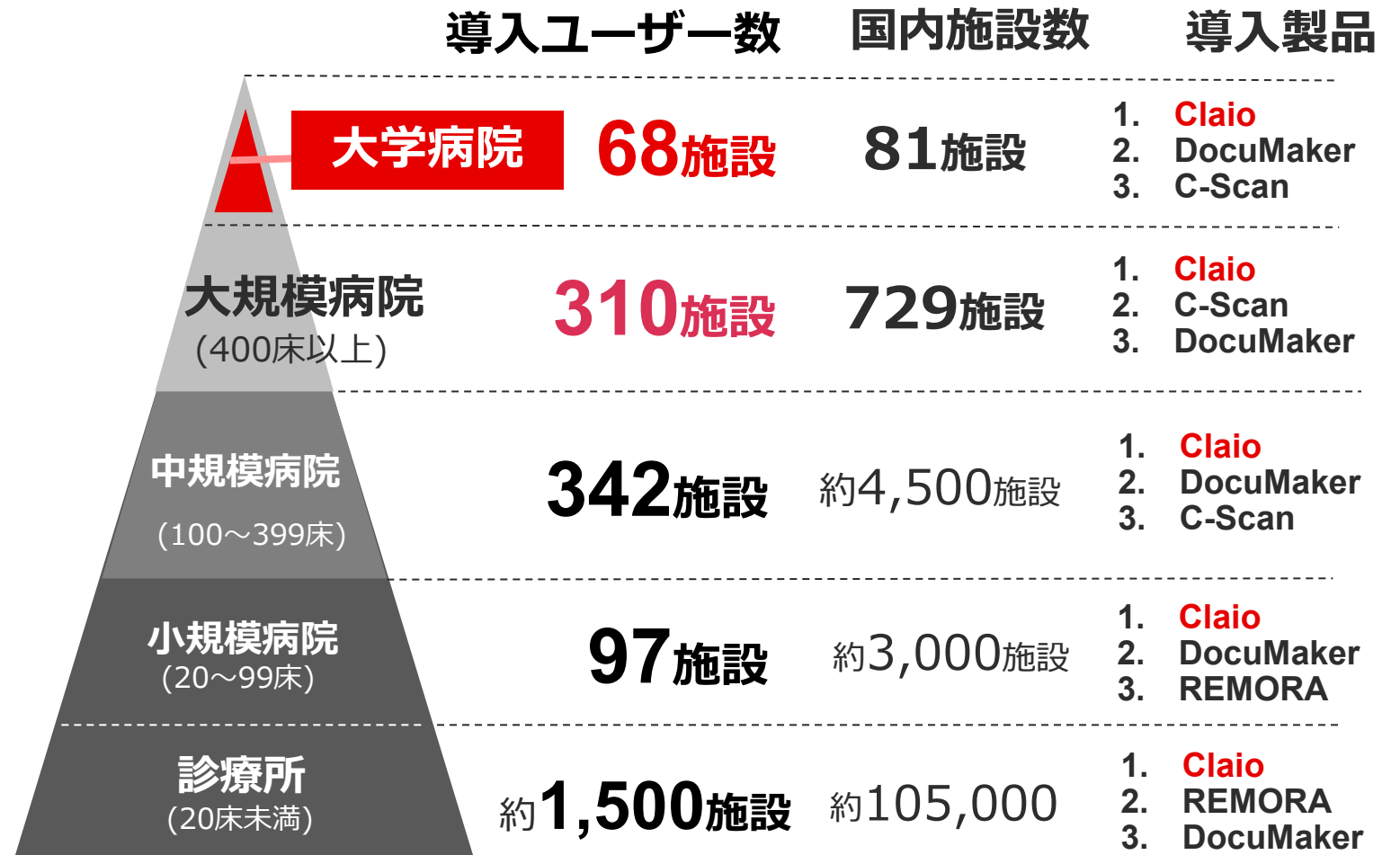
(百万円)	FY2026 期初計画	Q1実績	通期計画達成率
<b>連結売上高</b>	6,209	<b>1,989</b>	32.0%
医療ビジネス	5,451	<b>1,822</b>	33.4%
公共ビジネス	419	<b>103</b>	24.6%
ヘルステックビジネス	340	<b>64</b>	18.8%
<b>営業利益</b>	1,829	<b>803</b>	43.9%
医療ビジネス	—	<b>778</b>	—
公共ビジネス	—	<b>32</b>	—
ヘルステックビジネス	—	<b>△7</b>	—
<b>経常利益</b>	1,889	<b>825</b>	43.7%
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	1,302	<b>563</b>	43.3%

- 大規模病院における部門カルテのスタンダードであり、不可欠なシステム
- 現在は国内大学病院の8割に導入。直近のユーザー継続率は98%超

**80%**  
国内大学病院（本院）への製品導入率

**40%**  
400床以上の大規模病院への製品導入率

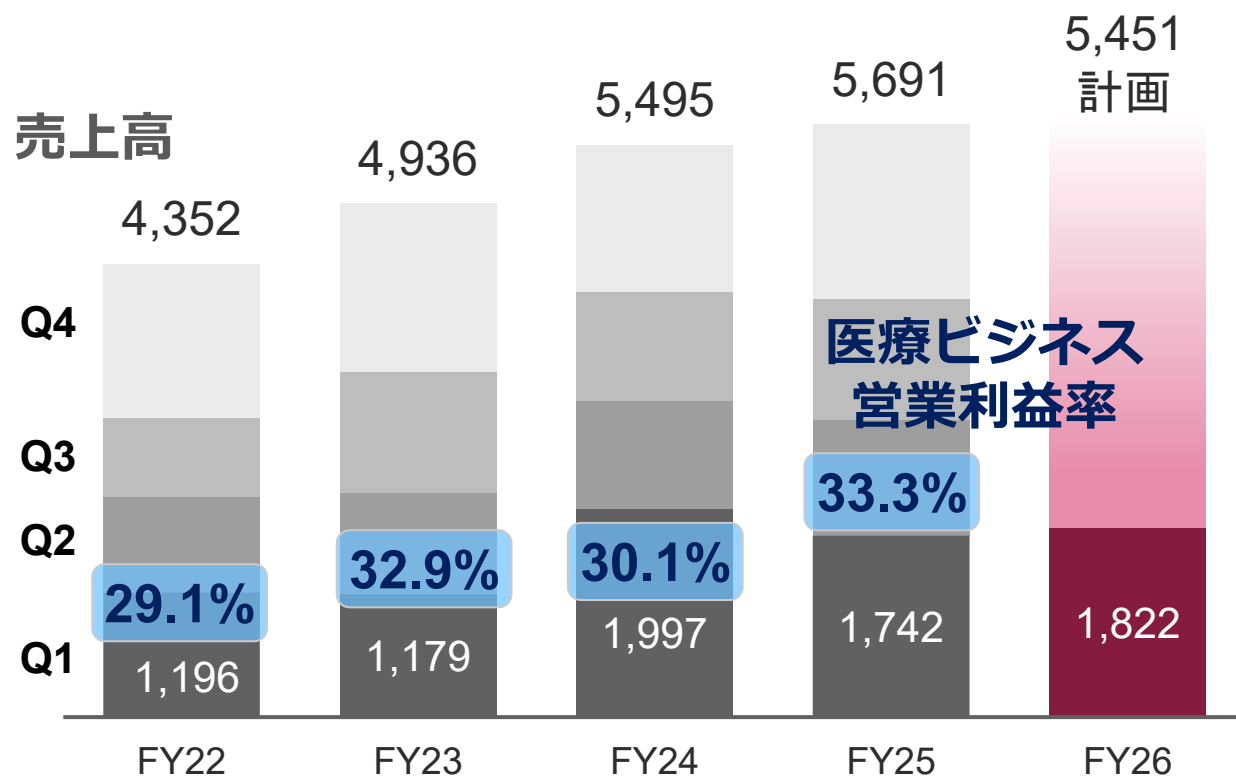
**2,200+**  
医療システムの導入総ユーザー数



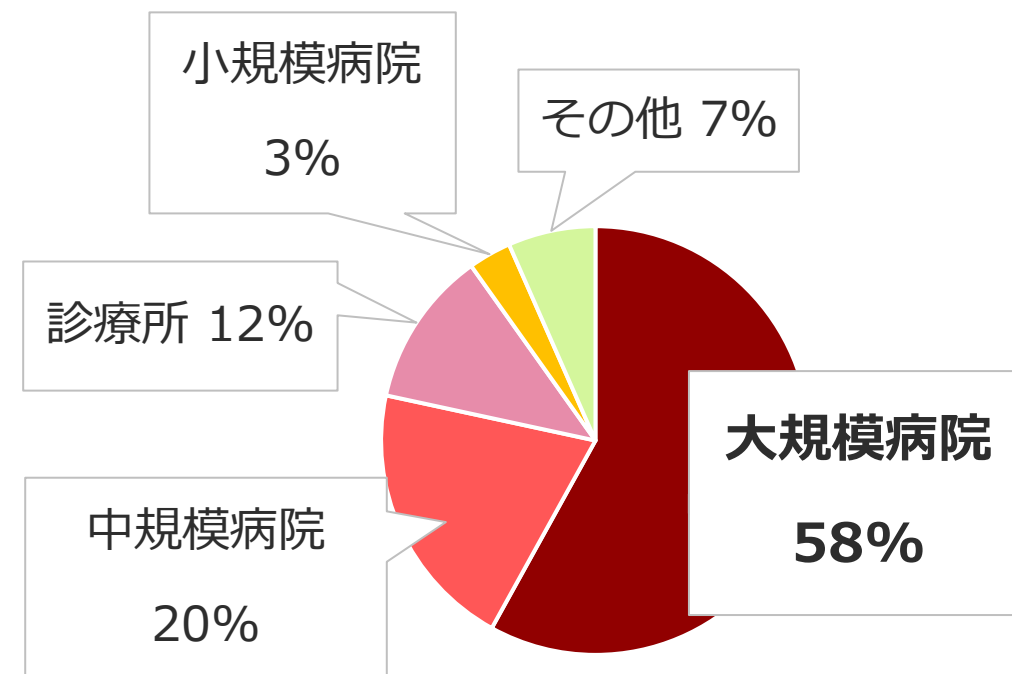
# 01: 安定した財務基盤

- 医療システム事業は**営業利益率が極めて高く**、直近では**30%超**
- 大規模病院への売上を中心に、シャワー効果で中・小規模医療機関へ拡大
- Cash Cowとして**新規事業開発**を支えてきた盤石な財務基盤

医療ビジネス：売上高(百万円)、営業利益率(%)

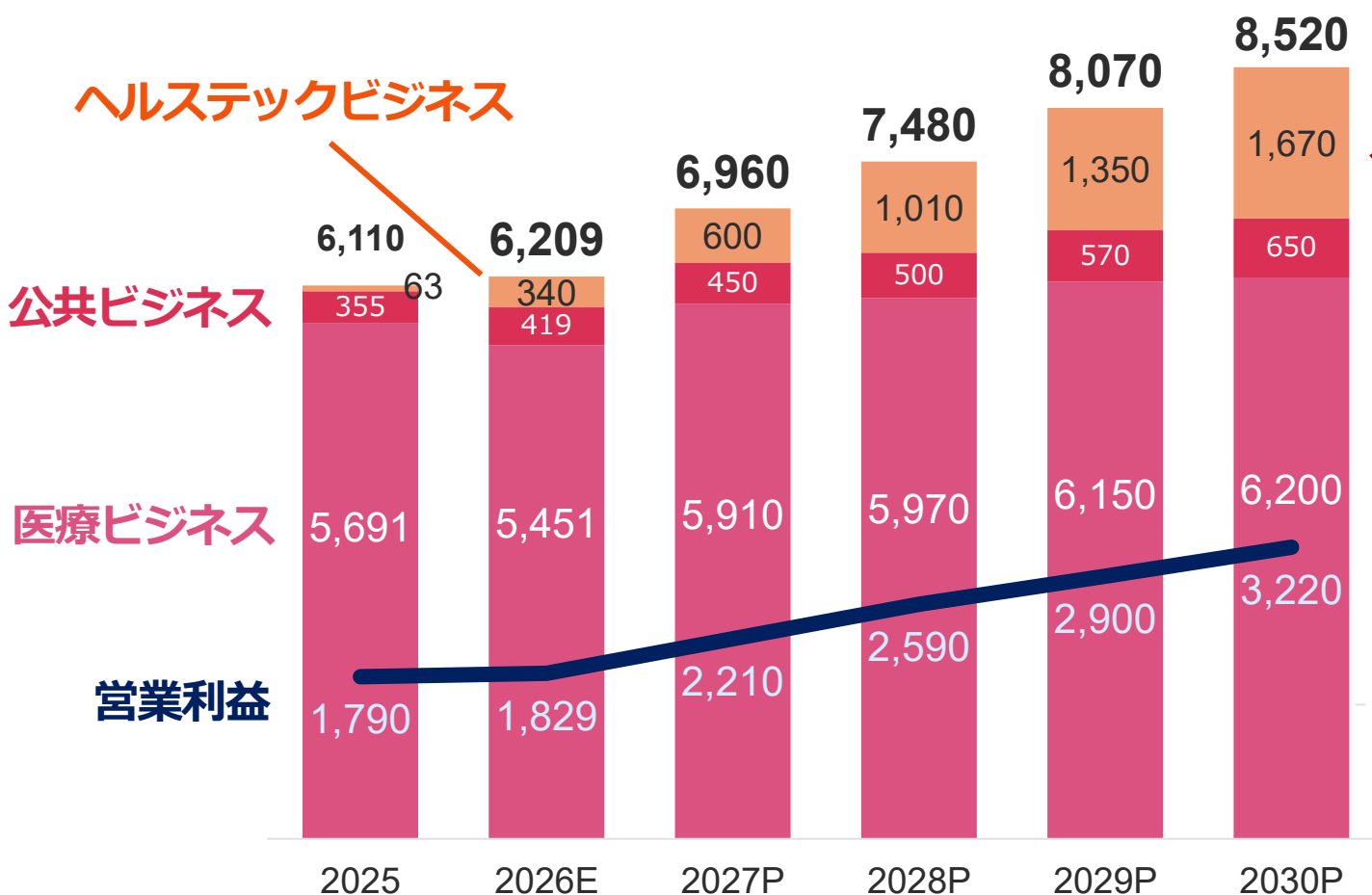


エンドユーザー種類別 売上構成比 (%)



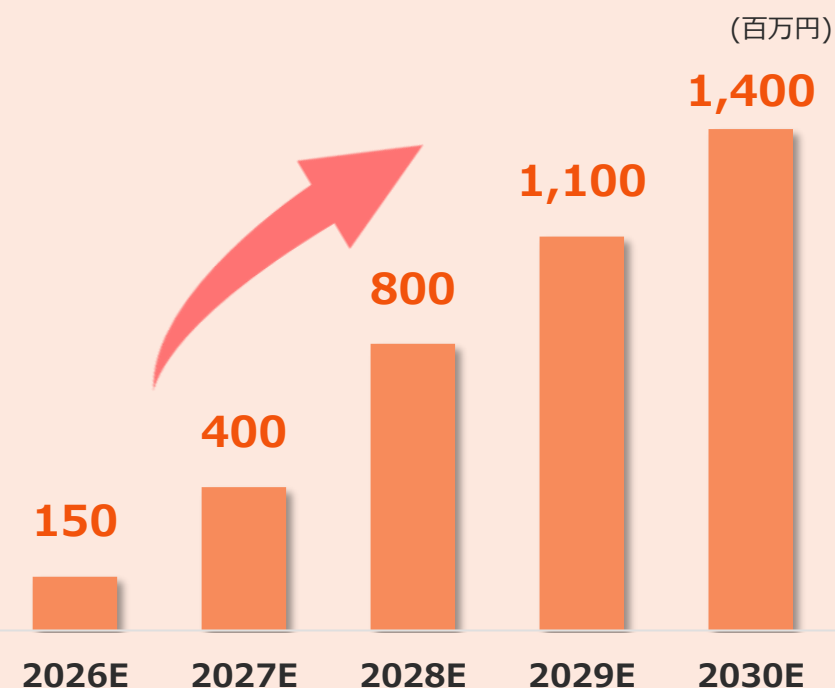
- 医療ビジネスの安定的な利益に加え、ヘルステックビジネスの医療データプラットフォーム事業が新たな収益の成長ドライバーに

事業セグメント別：売上高と営業利益の計画値(百万円)



## 医療データプラットフォーム事業

医療データ関連ビジネス売上計画



※医療機器関連売上を除く

## 圧倒的な競争優位性：法の認定事業者 & 全国の大規模病院との密接な連携



その他研究等



加工済みカルテデータ



### 新薬の開発、既存薬の改良

■ 製薬メーカー



投薬後の数値の変化や他疾患との関連性など、**縦断的カルテデータ**の需要高

開発期間の圧縮



### 診断AIの開発



■ AI開発企業、国

高品質のラベリング済みデータは、AIを開発する上で需要高



123



ABC



医療の発展と医療費抑制、当社の更なる成長へ

国策

認定事業者

患者直接の同意なしにデータを扱えるのは  
認定作成事業者 及び



**認定医療情報等取扱受託事業者**

他社が扱うデータ領域  
 取扱資格などは不要だが用途は  
 限定的

	電子カルテデータ	レセプトデータ	健診データ
特徴	電子カルテに入力された、 主訴や検査結果、処方、経過などの 時系列が含まれる診療録データ	医療機関が発行する、 医療費等をまとめた 会計データ(診療報酬明細)	健康診断や人間 ドックの結果
利用用途	創薬／治験 疫学研究 病院経営改善	治療研究／開発 公衆衛生 医療経済分析	疫学研究 予測 病院経営改善
利用者	製薬会社 医療機器メーカー	研究機関 生命保険会社	健康保険者 自治体
データの 有益性	★★★★★	★★★	★★

## 眼球運動データの独自取得と解析、医療機器開発への応用に挑戦

### ① 視線分析型視野計「GAP」※特許取得済



- アイトラッキング技術を駆使し、高精度な眼球運動計測を実現
- 潜在患者数は400万人以上といわれる緑内障の早期発見
- 「**眼球運動**」と「**MCI・緑内障患者の確定診断データ**(正解データ)」が紐付いたデータセットを保有するのは当社のみ

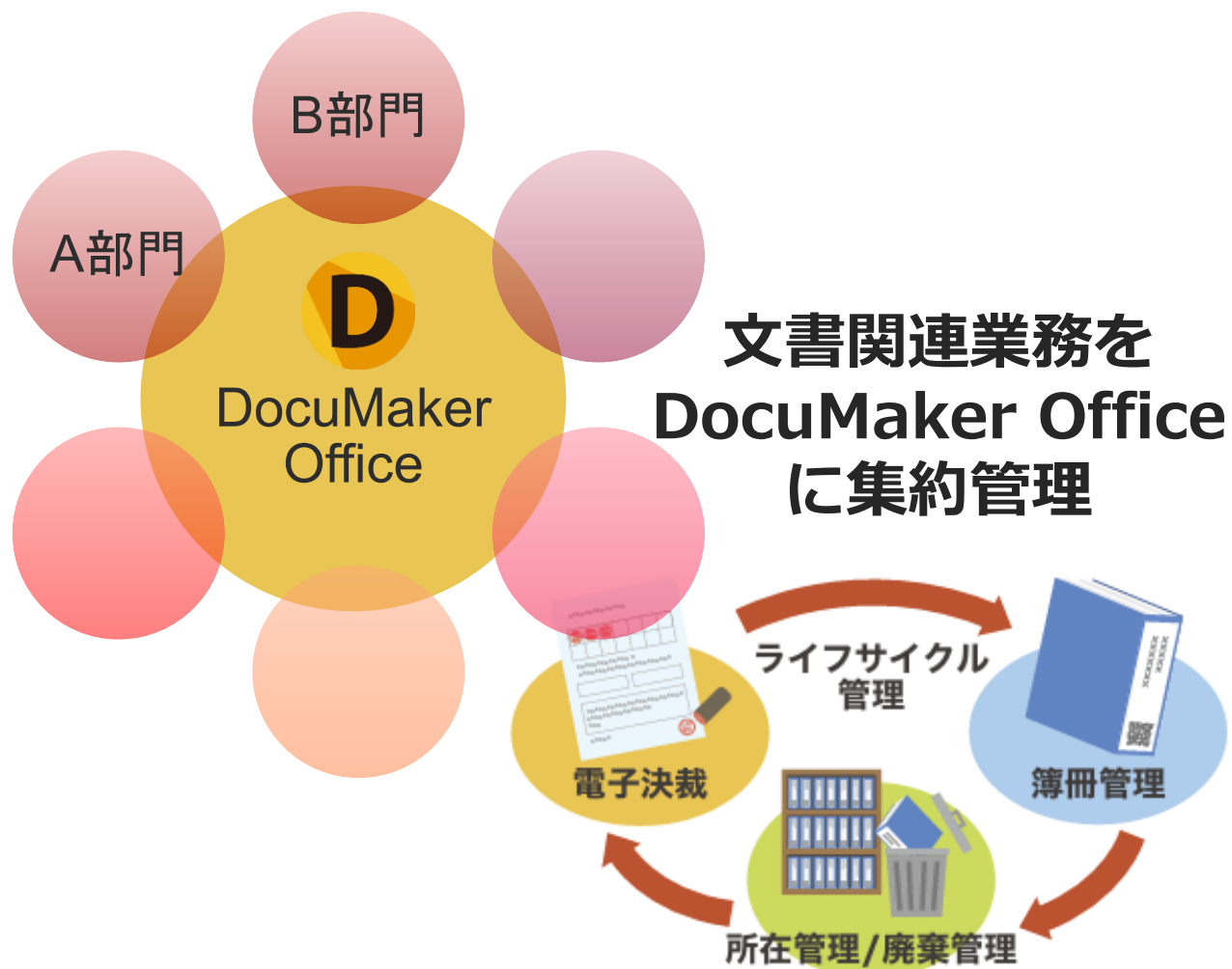
未病・早期発見  
の文化を作る



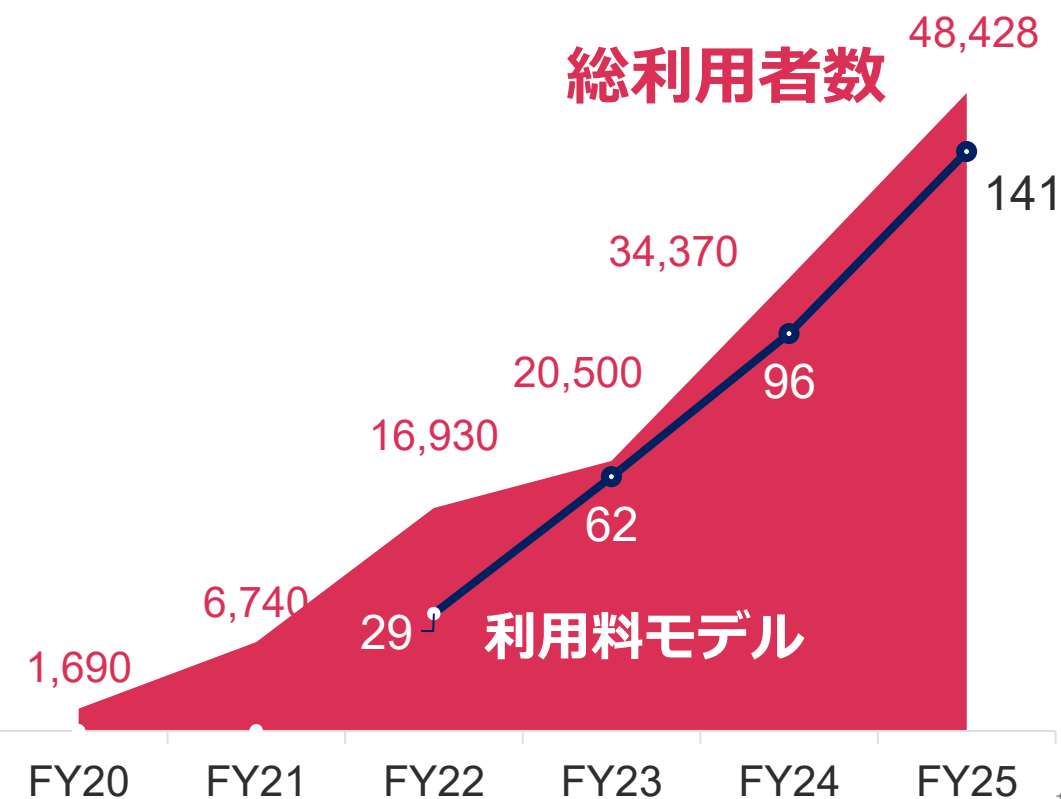
### ② MCI(軽度認知障害)の医療機器申請の準備を進行

「眼」で脳のバイタル  
を測る未来へ

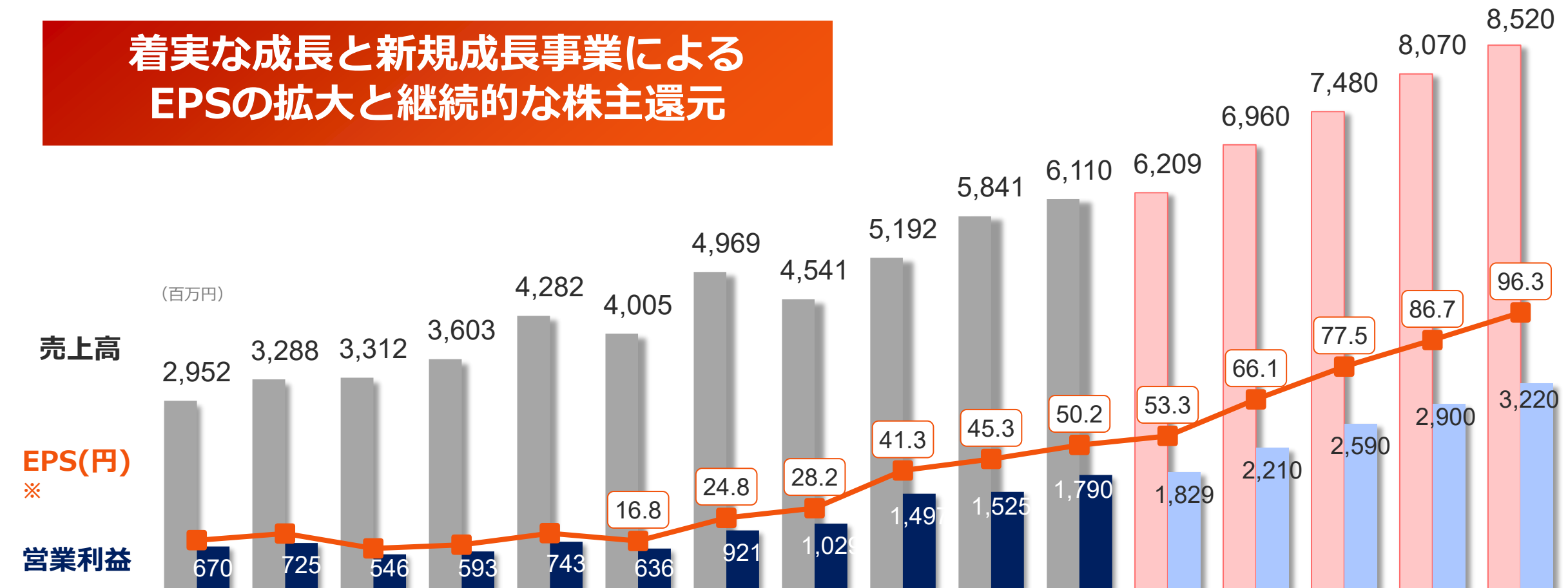
- 公共DX：職員の環境整備に向け、電子決裁・公文書管理システムの需要
- DocuMaker Officeサービス開始以来の解約数は未だ0件



総利用者数推移(人)と、売上高に占める  
利用料モデルの推移(百万円)



着実な成長と新規成長事業による  
EPSの拡大と継続的な株主還元



事業年度	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26 E	FY27 P	FY28 P	FY29 P	FY30 P
配当性向 (%)	41.1	36.1	49.2	48.4	41.0	47.6	34.2	33.7	31.5	33.1	43.9	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
年間配当額 (円)	7.00	7.00	7.00	7.50	8.00	8.00	8.50	9.50	13.00	15.00	22.00	27.00	33.00	39.00	43.00	48.00

※EPSは当期純利益に基づき算出

## 成長性

売上成長 2025年比

**139% ↑**

売上目標 **85億円**  
営業利益率 **37.8%**

- 電子カルテデータの利活用支援を成長ドライバーとして育成促進
- 医療・公共のリカーリング売上を基盤に、着実な積み上げで事業成長を加速

## 収益性

営業利益成長 2025年比

**175% ↑**

営業利益目標 **32億円**  
EPS **96.3円**

- 高い参入障壁と専門性に裏打ちされた高収益モデルの確立
- AI活用・業務自動化による効率的な事業運営で、高水準の営業利益率を維持
- **ROE20%超**を水準として中長期で維持・向上

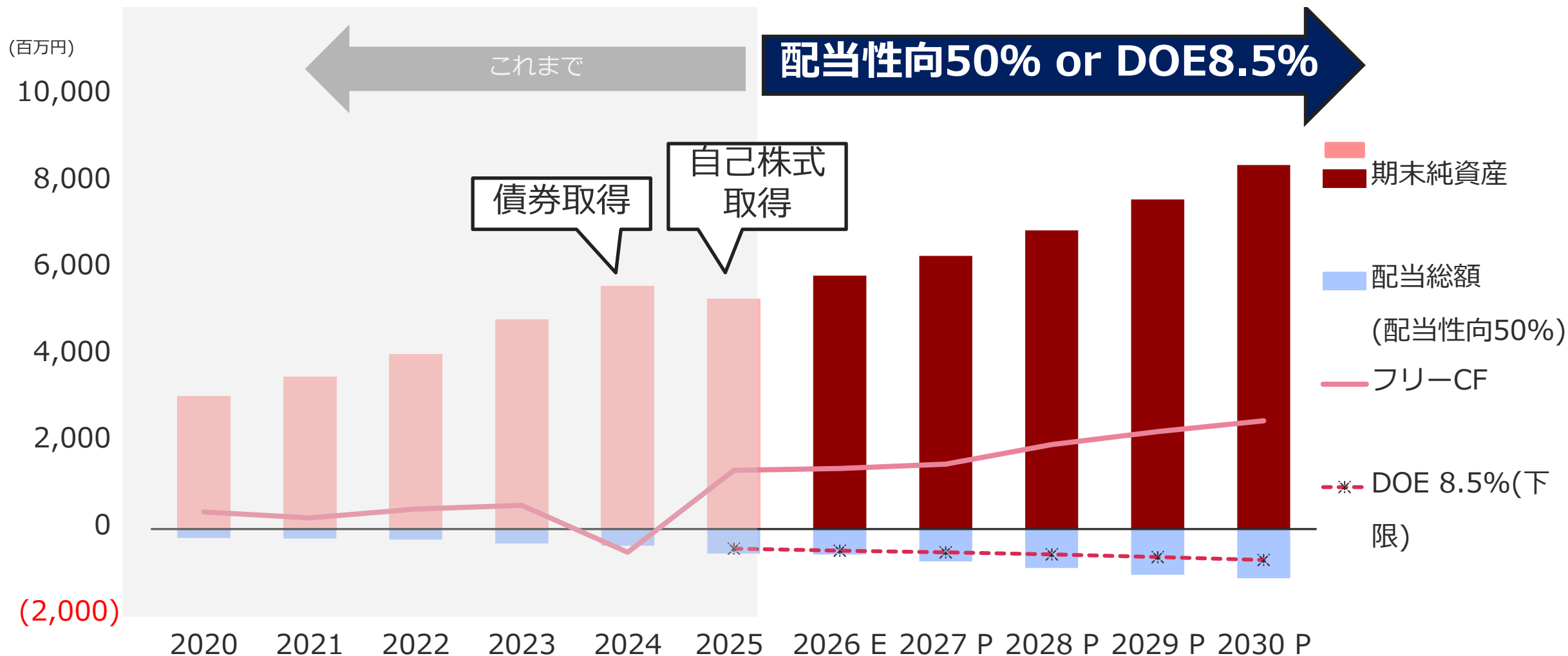
## 株主還元

年間配当額 2025年比

**218% ↑**

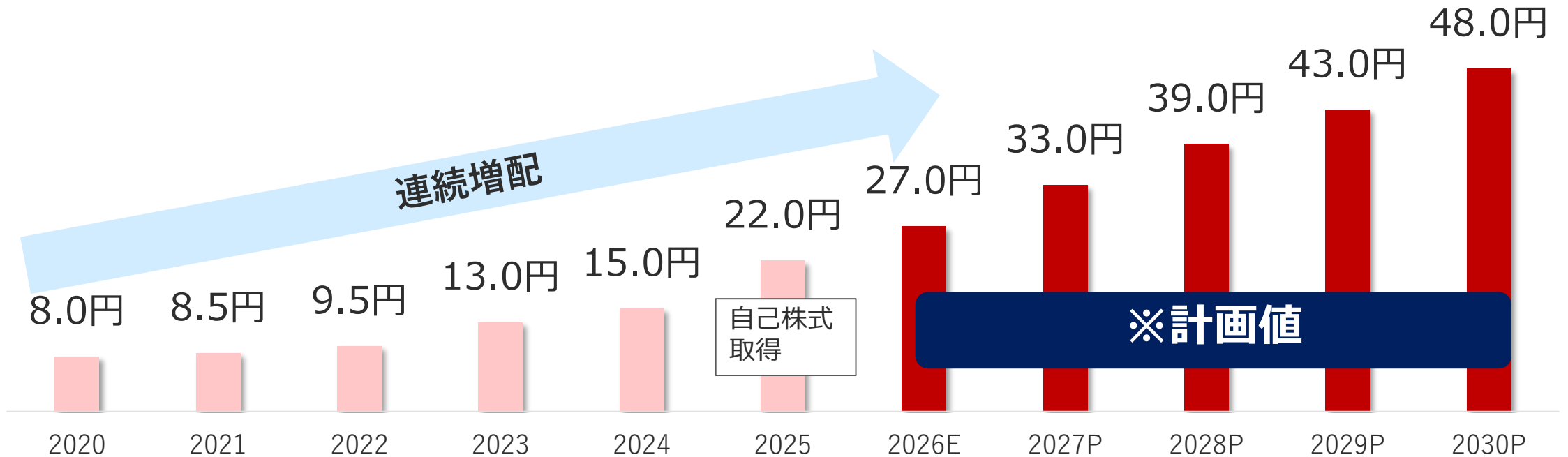
配当目標 **48円/株**  
配当性向 **50%**

- 配当下限を設定し、単年業績によらない安定的な配当を継続
- 利益成長に応じた持続的な増配を志向
- TSR向上に注力、株主との対話を積極化

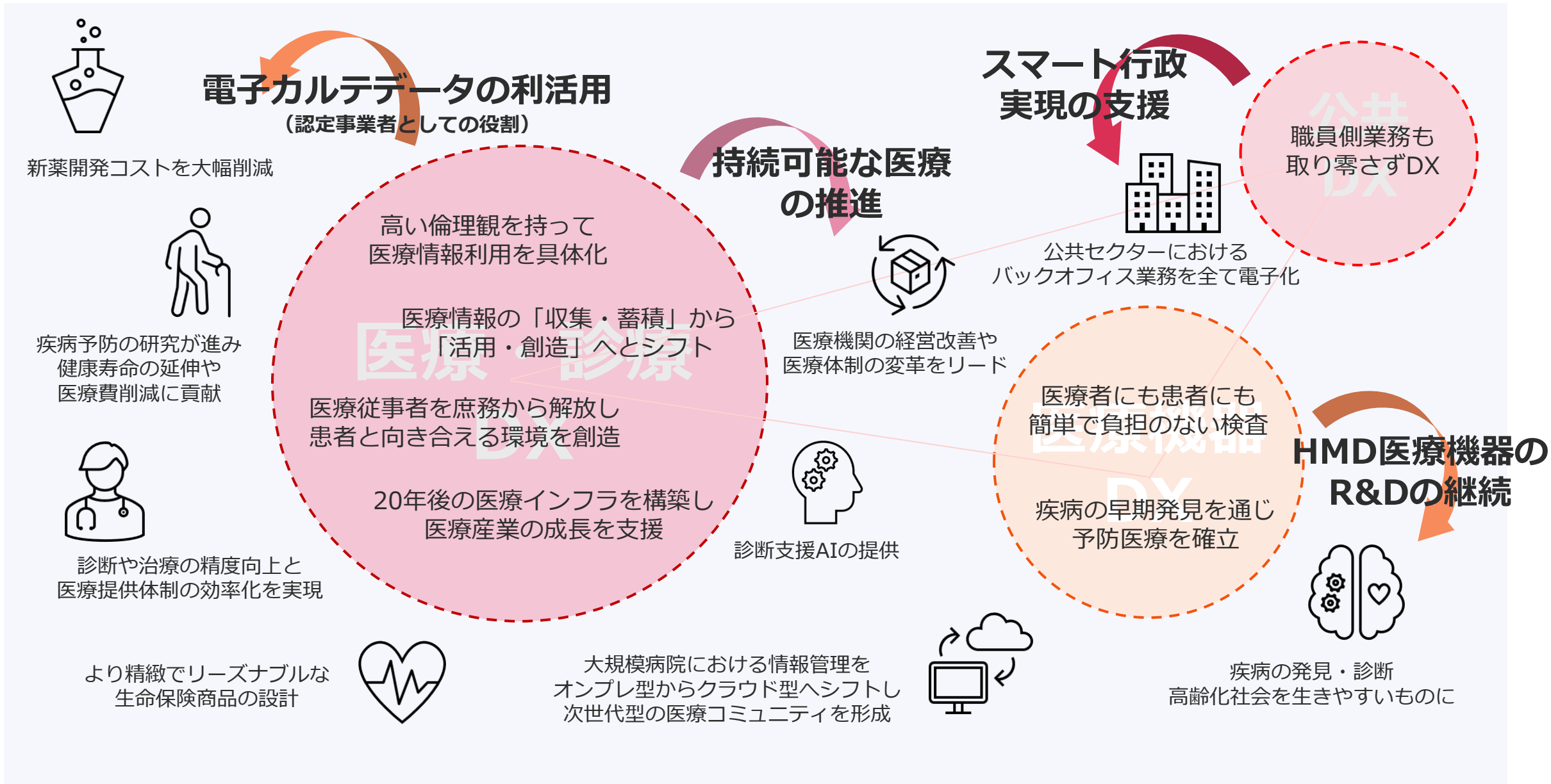


**利益の積み上げによる純資産の拡大を原資に、「株主還元」と「成長を加速するM&A」への資金力を確保**

- **配当性向を50%に引き上げ、配当の下限をDOE8.5%に設定**
- **M&Aを成長の必須要素とせず自律的成長を優先、但し高いシナジーが見込める投資機会には機動的に対応**
- **最適な資本構成の構築に向けて株主還元を抜本的に強化、上場企業としての責務を全うする**



# 04: ファインデックスは “ データプラットフォーム ” へ！



電子カルテデータの利活用  
(認定事業者としての役割)

新薬開発コストを大幅削減

スマート行政  
実現の支援

職員側業務も  
取り零さずDX

持続可能な医療  
の推進

公共セクターにおける  
バックオフィス業務を全て電子化

医療機関の経営改善や  
医療体制の変革をリード

高い倫理観を持って  
医療情報利用を具体化

医療情報の「収集・蓄積」から  
「活用・創造」へとシフト

医療従事者を庶務から解放し  
患者と向き合える環境を創造

20年後の医療インフラを構築し  
医療産業の成長を支援

医療者にも患者にも  
簡単で負担のない検査

疾病の早期発見を通じ  
予防医療を確立

HMD医療機器の  
R&Dの継続

疾病の発見・診断  
高齢化社会を生きやすいものに

診断支援AIの提供

大規模病院における情報管理を  
オンプレ型からクラウド型へシフトし  
次世代型の医療コミュニティを形成

より精緻でリーズナブルな  
生命保険商品の設計

疾病予防の研究が進み  
健康寿命の延伸や  
医療費削減に貢献

診断や治療の精度向上と  
医療提供体制の効率化を実現



今後のIR活動に生かすため、本日のセミナーについて  
ご意見をお聞かせください。（所要時間：1分）



<https://forms.gle/BdYCwCvJwjBgPKNK7>

お寄せいただいたご質問は、後日、当社のIRウェブサイトまたは  
情報発信サイトにて公開する可能性がございます。ご了承ください。

IRウェブサイト：<https://findex.co.jp/ir/>

情報発信サイト：<https://findex-investor-3649.notion.site/info>

# 将来予測による注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

また、予想・計画等の更新または修正が望ましい場合においても、当社は本資料の情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等を基に投資判断を下すことにより生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は株式会社ファインデックスに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

